

平成23年度まちづくり支援事業 まちづくりわいわい塾
「土地の用途について学ぼう!」

平塚市まちづくり政策課

1 実施の目的

日本経済の先行き不透明感や、工場稼働による騒音や悪臭などに対して向けられる市民の厳しい視線など、企業、とりわけ製造業を取り巻く環境は年々厳しくなっています。

しかし、創り出される製品はもとより、納税、雇用創出、知名度アップ、地域でのイベント活動や清掃活動など、企業の地域に対する貢献は非常に大きく、それなくしては、平塚市の運営は成り立たません。

そこで、市民の方に市内の企業の製品や取り組みなどを知ってもらい存在価値を再確認したり、住居地域や工業地域を分けている本市の都市計画(用途地域)などを理解してもらうことで、市民と企業(工場)がお互いを理解し共生できる意識を持つことを目的としました。

2 実施内容

(1)日 時 平成23年12月3日(土) 13:15~16:30

(2)場 所 横浜ゴム株式会社 平塚製造所

(3)参加者 20名

(4)講 師 拓殖大学教授 山本 尚史 氏

(5)日 程

工場敷地内見学(90分)

始めに、横浜ゴム(株)の製品、地域や環境への取り組みについて説明を受けたあと、2班に分かれて横浜ゴム(株)平塚製造所内を見学しました。



工場敷地内にある、RADAIC と呼ばれる建物の1Fロビーには横浜ゴムの製品が展示されています。

横浜ゴムでは「千年の杜プロジェクト」として工場敷地内のあらゆる場所で植樹活動に取り組んでいます。

講座1 平塚の「用途地域」~土地の使われ方~について(15分)

まちづくり政策課の職員が講師となり、平塚市内の住居地域や商業地域、工業専用地域といった用途地域の特徴や成り立ちについて学びました。



都市計画とは何か、歴史的背景も含めて学習しました。



平塚市と他市の土地利用の状況について比較しました。

用途地域とは?

都市における雑多な建築物が混在して、生活環境が悪化したり、あるいは都市機能が低下したりすることを防ぐため、各地域を住居や商業、工業等の用途に区分し、それぞれの地域において建物を建てる場合、お互いに守るべき最低限のルールとして、建築物の用途制限、建ぺい率及び容積率等を定めているものです。

講座2 地域経済を活性化する「エコミックガーデニング」(60分)

拓殖大学山本尚史教授を講師に迎え、地元の企業を応援して地域経済を活性化するための施策「エコミックガーデニング」について学びました。



まずは、日本がこれから迎える人口構造、行政コストの推移について説明がありました。



人口減少時代における地域主体の活性化策「エコミックガーデニング」について学びました。

エコミックガーデニングとは?

エコミックガーデニングとは、地域経済活性化のために地元中小企業を成長させる新手法として、米国の地方自治体などで実施されている政策です。それは、「企業家精神あふれる地元の中小企業が活躍できるビジネス環境を創出する取り組み」とも言えます。具体的には情報力・分析力に乏しい中小企業に対し、ビジネス情報を分析して提供することもエコミックガーデニングの一つと言えます。